国土交通省近畿地方整備局
Kinki Regional Development Bureau
Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
資　料　配　付

配付日時	平成２７年　１月３０日 １１：００

件　　名	**重点「道の駅」候補の選定について ～地方創生の核となる「道の駅」を応援します～**

概　　要	「道の駅」は、平成５年の制度創設以来、現在では全国で１，０４０箇所、近畿地方整備局管内で１２６箇所に広がり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。 国土交通省では、この「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置付け、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施します。 今般、地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして、近畿地方整備局管内における重点「道の駅」候補を、以下のとおり近畿地方整備局長が選定しましたのでお知らせします。 ＜近畿地方整備局長選定＞ 〇重点「道の駅」候補　　選定数　全１２箇所 ※選定箇所の詳細は別添の資料のとおりです。 選定結果の詳細等はホームページでも公表されます。（http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/） （参考）政府広報オンライン「地方創生の拠点に！地域を元気にする『道の駅』」 （http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg11133.html）

取 扱 い	―

配付場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 福井県政記者クラブ、京都府政記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、 奈良県政記者クラブ、和歌山県政記者クラブ

問合せ先	国土交通省　近畿地方整備局　道路部 道路情報管理官　　田中　貢　（内線４１１４） 交通対策課長　　松田　好生（内線４５１１） 電話：０６－６９４５－９１０７

近畿地方整備局管内の重点「道の駅」 候補一覧

重点「道の駅」候補（近畿地方整備局長選定）

関係機関が連携し、企画検討等を支援

- 京都府京丹後市　道の駅「丹後あじわいの郷（たんごさと）」
  （平成１５年　９月オープン）
- 京都府京丹後市　道の駅「久美浜一区（くみはまいっく）まるごと道の駅（みちえき）」
  （平成２７年度オープン予定）
- 京都府南山城村　道の駅「南山城村（みなみやましろむら）」（仮称）
  （平成２８年度オープン予定）
- 京都府与謝野町　道の駅「シルクのまち　かや」
  （平成　７年　４月オープン）
- 京都府舞鶴市　道の駅「舞鶴港（まいづるこう）とれとれセンター」
  （平成１４年１０月オープン）
- 兵庫県養父市　道の駅「ようか但馬蔵（たじまくら）」
  （平成１９年　３月オープン）
- 兵庫県西脇市　道の駅「北（きた）はりまエコミュージアム」
  （平成１４年　９月オープン）
- 兵庫県加東市　道の駅「とうじょう」
  （平成１２年　４月オープン）
- 兵庫県南あわじ市　道の駅「福良（ふくら）」
  （平成２５年　４月オープン）
- 奈良県葛城市　道の駅「かつらぎ」（仮称）
  （平成２８年度オープン予定）
- 奈良県田原本町　道の駅「たわらもと」（仮称）
  （平成３０年度オープン予定）
- 奈良県宇陀市　道の駅「宇陀路大宇陀（うだじおおうだ）」
  （平成　９年　４月オープン）

近畿地方整備局管内の重点「道の駅」 候補　位置図

重点「道の駅」候補

道の駅「丹後あじわいの郷」

京都府京丹後市

○ 既存の農業公園を無料化することで道の駅区域を公園全体に拡大し、丹後地域の観光資源・地域食材等を紹介する観光等総合窓口拠点、人材育成拠点、都市と農村の交流拠点として再生
○国内外の観光客の誘客、料理人、農林漁業者等「食」に関する人材の育成等により、「丹後の食材」「和食」を国内外へ広く普及

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合案内	地方移住等促進	産業振興
丹後地域の体験観光の総合窓口	就農（漁）者向け研修による人材育成	丹後地域の「食」「和食」文化発信

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
丹後あじわいの郷	京都府	京都府	府道53号	既設	平成15年	単独型

琴引浜

全長が約1.8kmあり、そのほとんどが鳴き砂の浜で、自然のままの状態で保たれた景勝の地であることから、国指定の天然記念物・名勝に指定されている。

間人がに

水揚げ量が少なく「幻のカニ」と呼ばれる。
品質・味ともに最高級

伊根の舟屋

舟屋は伊根湾に沿って建ち並び、1階が舟の格納庫等、2階は住居となった機能的な建物。漁村では全国初となる国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。

丹後への観光客数
548万人（H25）→目標：660万人

観光客数160万人

クルーズ船
（パシフィックビーナス等）

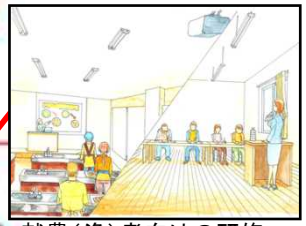
クルーズ船からの外国人観光客等に対して、琴引浜や伊根の舟屋等の丹後地域の観光資源等の情報を発信する地域のゲートウェイとして機能

天橋立（飛龍観）

日本三景で特別名勝のひとつ。全長約3.6kmの砂浜で、その形が天に架かる橋のように見えることから『天橋立』の名が付いた

地域の料理人や料理学校受講者等による実践の場の提供

公園全体を無線LAN対応



就農（漁）者向けの研修、ティエリーマルクス氏による調理学校

インバウンド観光・移住情報等の総合案内窓口

※イメージ図であり、今後、変更があります。

＜提案の先駆性・ポイント＞

■丹後地域の中心「道の駅」として、クルーズ船からの外国人観光客等に対して、定置網体験等の体験型観光や丹後地域の食材・食文化をPR
■丹後地域の観光、空き家情報、移住情報等総合案内機能を整備
■加工研修施設での食料加工品や料理等の商品開発により、地域の農林漁業者、料理人等「食」に関する人材を育成

＜実施内容＞

○丹後地域の観光、体験農園・定置網体験等と連携した総合案内窓口として整備
○就農（漁）者向けの加工施設を利用した6次産業化研修を開催し、人材育成。研修後は就労情報等を提供し地域への定住を促進。
○ミシュランの“星の請負人”と呼ばれるティエリーマルクス氏による調理学校を開校し人材育成。また、地域の料理人や料理学校受講者等による実践の場の提供
○体験農園の拡大のための農園等の整備、牧舎の整備による乳牛とのふれあい等の都市と農村の交流拠点として整備

重点「道の駅」候補

道の駅「久美浜一区まるごと道の駅」

京都府京丹後市

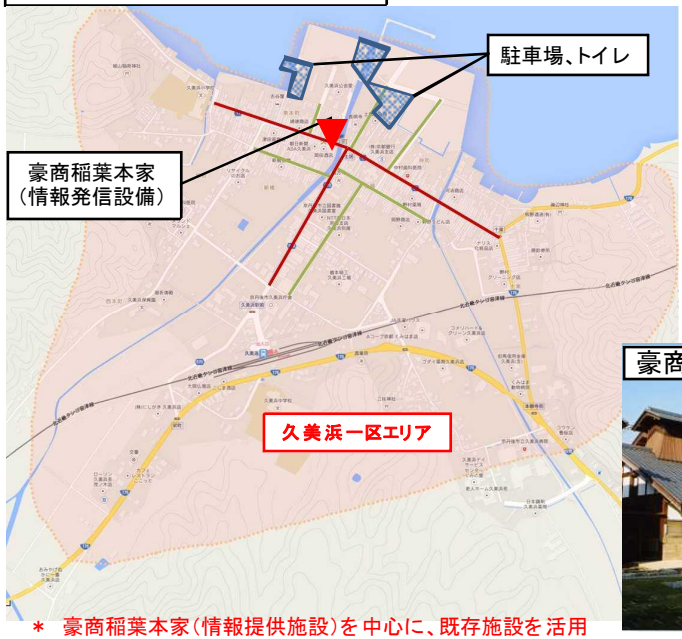
○ 北前船等の交易で栄えた久美浜一区の歴史的なまちなみをまるごと道の駅化
○ レンタサイクルでの湖畔のサイクリング、遊覧船等による周遊観光や、茶道体験や丹後ちりめんの着付け等の日本文化体験でFIT誘致

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合案内	インバウンド観光	地方移住等促進	防災
海の京都観光圏西のゲートウェイ	京都市（300万人/年）からFIT誘客	空き家を活用し移住起業者を逆指名	観光客に対する防災医療体制

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
久美浜一区まるごと道の駅	京都府	京丹後市	府道11号 府道670号	新設	平成27年	単独型

久美浜一区まるごと道の駅　※久美浜一区をまるごと道の駅として新規登録



＊ 豪商稲葉本家（情報提供施設）を中心に、既存施設を活用

＜提案の先駆性・ポイント＞

■ 海の京都観光圏の西のゲートウェイとして、久美浜湾やかぶと山の周遊観光、京都市（300万人の外国人宿泊/2020年）からFIT誘致(インバウンド観光)
■空き家をテナントに見立て、女性Iターン起業家を誘致による賑わい創出

＜実施内容＞

○JNTO外国人案内所、免税店登録（FIT受入体制の整備）
○電動レンタサイクル、レンタル小型モビリティの拠点として整備
○フルーツ狩り体験の充実化に伴う施設整備
○Iターン等の移住起業ワンストップ窓口開設・商店街の空き家（店舗）改修

重点「道の駅」候補

道の駅「南山城村（みなみやましろむら）」（仮称）

京都府相楽郡南山城村

○「村で暮らし続けるための仕掛けづくり」として、特産品である“南山城茶”を活用した商品開発等による「産業再生」、都市と連携した移住促進等による「次世代の担い手育成」、宅配サービス等の高齢者生活支援のための「絆づくり」の拠点として整備
○生産から販売まで地域で一貫した取り組みとなるよう、道の駅が“地域商社”の役割を担うシステムを構築

＜地方創生拠点としての機能＞
地域センター型

地方移住等促進	産業振興	地域福祉	防災
情報ワンストップ提供 公募雇用機会創出	**農林産物ブランド化・6次産業化・雇用創出**	高齢者生活支援	後方支援拠点・ バックアップ機能

南山城村のお茶を中心とした文化や自然環境の豊かさ等の魅力を隣接府県に情報発信し、都市との連携や交流を図り、定住を促進することで、産業再生や次世代の担い手を育成

運営スタッフの公募等による雇用機会の創出

「道の駅」開設準備のため、若手臨時職員を公募により採用し、南山城村に移住し、特産品の開発などに取り組む

地域資源を活かした体験・交流機会の提供

田舎暮らし体験（炭焼き体験の様子）
地元の方とともに農作業体験を行う中で移住や田舎暮らし実現に必要な情報を提供

地域の特産品によるオリジナル商品の開発

府内第2位の生産量を誇る高品質なお茶

産官学連携で商品化した「南山城村の抹茶ばなな」

南山城村の特産品であり、14年連続で農林水産大臣賞を受賞した高品質なお茶を活用したオリジナル商品の開発

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
南山城村（仮称）	京都府	南山城村	国道163号	新設	平成28年	一体型

※イメージ図であり、今後、変更があります。

＜提案の先駆性・ポイント＞

■道の駅整備を「村で暮らし続けるための仕掛け作り」と位置付け、茶業等の農業の衰退及び後継者不足、人口の減少・高齢化等の課題を解決するため、「産業再生」、「次世代の担い手育成」や「絆づくり」を担う拠点とする。
■「村に必要なことを村の人が取り組み、それによって村の人が利益を享受する」という地域内循環型産業システムを実現する拠点とし、住民出資の設立会社を運営会社とする。
■災害時の避難所、災害復旧の活動拠点、支援物資の集積拠点とする。

＜実施内容＞

○「持続可能な農業」を実現するため、特産品である“南山城茶”のブランド化の推進とオリジナル商品の開発等のための加工施設の整備
○南山城村のお茶を中心とした文化等を発信し、都市との交流を促進するための体験・交流機会等の情報発信や受付ができる施設の整備
○コミュニティバスや日用品等の宅配サービスによる高齢者生活支援の実施
○若手起業家等の活動拠点等に活用できるサテライト・オフィスの整備
○災害時の後方支援拠点に利用する広場・駐車場・防災倉庫の整備

重点「道の駅」候補

道の駅「シルクのまち　かや」

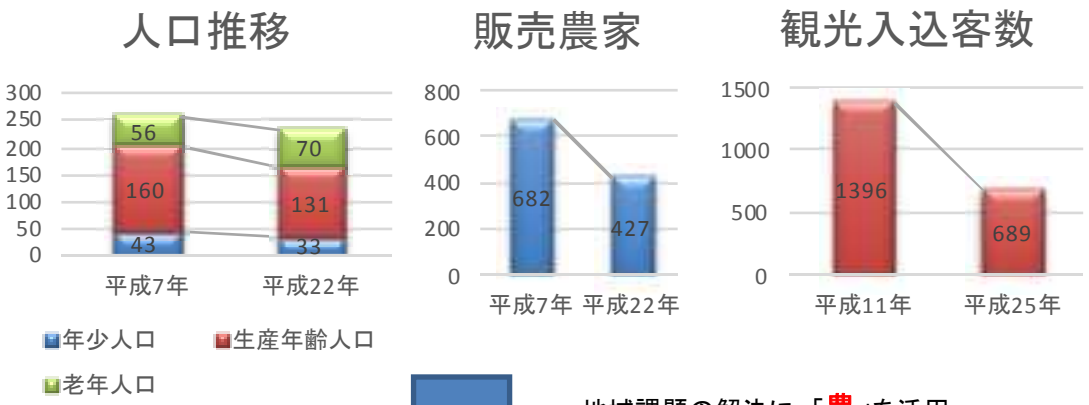
京都府与謝郡与謝野町

○ 少子高齢化・基幹産業の衰退・交流人口減少等の地域課題を解決するため、地域センター型・道の駅への転換を図る
○ 基幹産業の「農業」に特化し、農業の価値を高める「農の拠点施設」としてリニューアルを行う

＜地方創生拠点としての機能＞
地域センター型

観光総合窓口	産業振興
周辺エリアの資源を活かした事業展開	「農の拠点」施設としてリニューアル

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
シルクのまち かや	京都府	与謝野町	国道176号	既設	平成6年	単独型



地域課題の解決に、「農」を活用

有機質肥料使用 京の豆っこ（認証）京都 与謝野町

「京の豆っこ米」
（丹後産コシヒカリ）

日本穀物検定協会
食味ランキング「特A」
西日本最多11回獲得!!

農産加工所との商品開発
（リフレかやの里農産加工所）

生産者との連携
（農村体験プログラム）

隣接施設との連携
（加悦SL広場）

店舗リニューアル
（農産物販売強化・食堂整備）

農業の価値を高める「**農の拠点**」としてリニューアル
周辺施設との連携により、**滞在型の道の駅**へと転換

＜提案の先駆性・ポイント＞

■「ゲートウェイ機能依存からの経営革新＝地域センター型への転換」を図り、同様に交流人口の拡大を図る。
■農業の価値を高める「農の拠点」としてリニューアルを行うことで、後継者の育成や担い手（新規就農者含む）の確保につなげ農業分野で雇用を創出する

＜実施内容＞

○既存直販所を拡げ、売場全体を農産物販売拠点として整備。売場デザインを統一し、お客様が楽しめる空間を演出
○既存軽食ゾーンを町内農産物が味える食堂に整備し、田舎の食卓の風景を上質に演出
○「京の豆っこ米」など町内農産物を活かしたオリジナル商品開発
○農業生産法人や周辺施設と連携し、四季に応じた体験プログラムを提供

重点「道の駅」候補

道の駅「舞鶴港とれとれセンター」

京都府舞鶴市

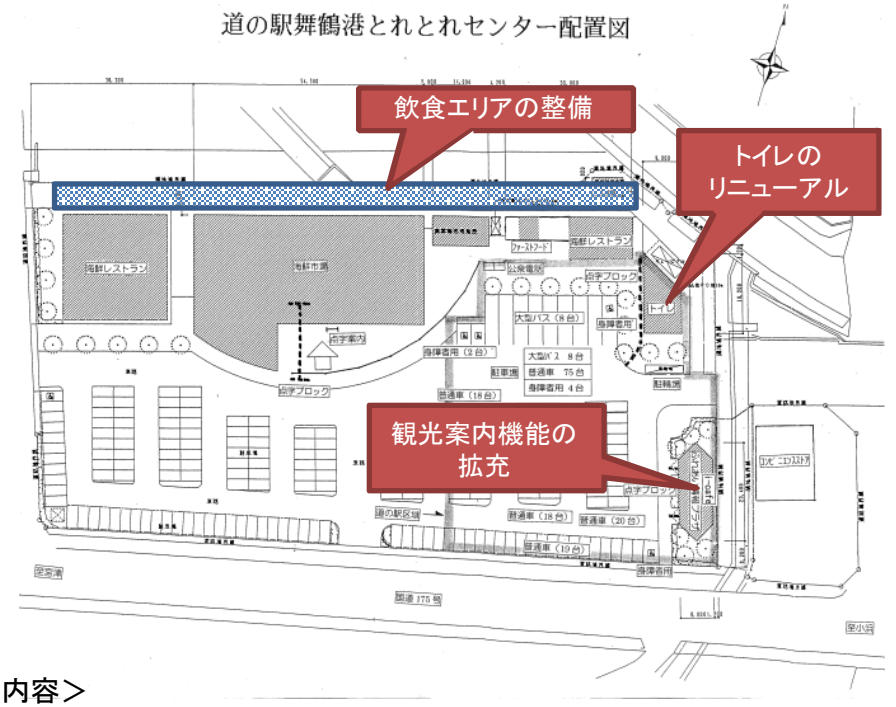
○外航クルーズ客船等による外国人観光客のゲートウェイを担う観光総合窓口機能
○新鮮なとれたて海鮮を，海を望むロケーションで楽しむ産地直売機能

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合案内 「海の京都」地域のゲートウェイ	インバウンド観光 クルーズ客船等による外国人観光客対応

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
舞鶴港とれとれセンター	京都府	舞鶴市	国道175号	既設	平成14年	単独型

道の駅舞鶴港とれとれセンター配置図



＜提案の先駆性・ポイント＞

■日本海側拠点港の選定を受けた京都舞鶴港西港に隣接し，国道及び高速道路の結節点であるロケーションからゲートウェイ機能の拡充をねらう。
■海の京都観光圏内の最大の集客力を活用し，新鮮なとれたて海鮮をはじめとする，地元産品の産地直売，飲食機能の拡充。

＜実施内容＞

○外航クルーズ客船等による外国人観光客対応の環境整備
○「海の京都」観光総合窓口機能を担う赤れんがパーク(認定案内所)と連携した案内機能の確保
○地元産品や加工品の物産販売
○港と船が見える飲食エリアの整備
○トイレのリニューアル整備

重点「道の駅」候補

道の駅「ようか但馬蔵（たじまくら）」

兵庫県養父市

○外国語案内や観光施設・観光地と連携したイベントにより養父市観光の情報発信基地へ
○国家戦略特区（農業特区）を活かした特産品開発・販売による6次産業の推進

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

インバウンド観光	観光総合窓口	産業振興
海外観光客に対応した道の駅づくり	観光施設・観光地と連携したイベント開催	農業特区をいかした特産品開発

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ようか但馬蔵	兵庫県	養父市	国道9号	既設	平成18年	一体型

＜提案の先駆性・ポイント＞

■国家戦略特区（農業特区）をいかし、古民家滞在者（海外観光客含む）に合わせた対応として観光案内やイベント開催等を行い、観光案内の発信基地を形成
■地元農業や6次産業推進のため、農作物の地域ブランドとしての販売や道の駅オリジナル商品等を提供

＜実施内容＞

○観光案内ポスター、道の駅の商品をタブレット端末を利用して商品説明や観光地案内を5カ国語程度で表示
○Wi-Fiフリースポットの拡充
○電気自動車充電施設の外国語表示
○観光施設・観光地と連携したイベント開催
○特産品の開発・販売

重点「道の駅」候補

道の駅「北(きた)はりまエコミュージアム」

兵庫県西脇市

○ 地域まるごと博物館「北はりま田園空間博物館」のキーステーションとして、地域に息づく暮らしを交流・集客資源として発信
○ 体験プログラムを中心に着地型観光を受け入れる拠点として機能する集客施設として整備

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合窓口	地方移住等促進	産業振興
地域の営み・暮らしを資源として体感	雇用機会の創出	開発支援・ブランド化・販路開拓

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
北はりまエコミュージアム	兵庫県	西脇市	国道175号	既設	平成13年	単独型

体験交流ツアーの開催
（高設栽培イチゴ・篠田イチゴ園）

地域文化体験教室の開催
（竹細工づくり・道の駅体験学習室）

運営組織によるガイド養成
（実地研修・荘厳寺）

＜提案の先駆性・ポイント＞

■ボランティア養成講座によるガイド･総合案内所スタッフの育成や外部人材を積極的に登用し、事業を推進
■特産品の開発支援など新たな分野に進出し、道の駅を拠点に事業と雇用創出

＜実施内容＞

○観光協会等と連携した地域全体の観光案内拠点機能の強化
○地域の暮らし・営みをテーマにした体験交流プログラムの提供
○ボランティア養成講座による観光案内人の養成・充実
○外国人観光案内所の認定取得、無料公衆無線LANの整備

重点「道の駅」候補

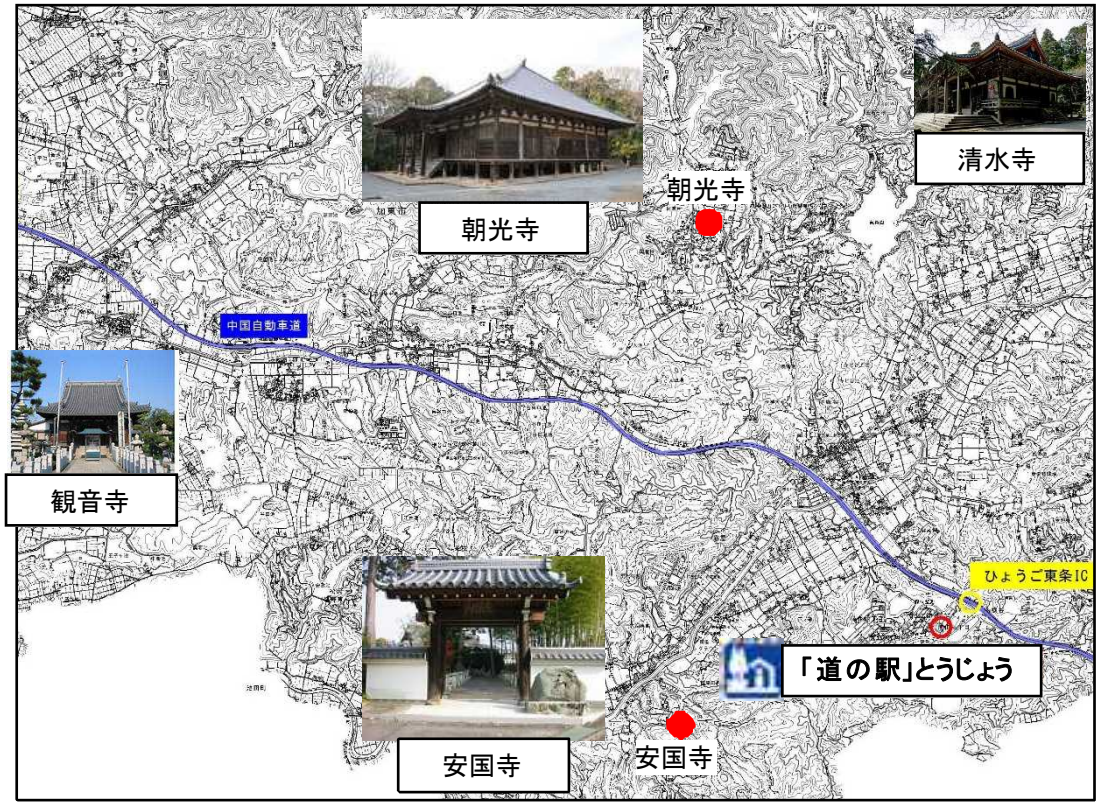
道の駅「とうじょう」

兵庫県加東市

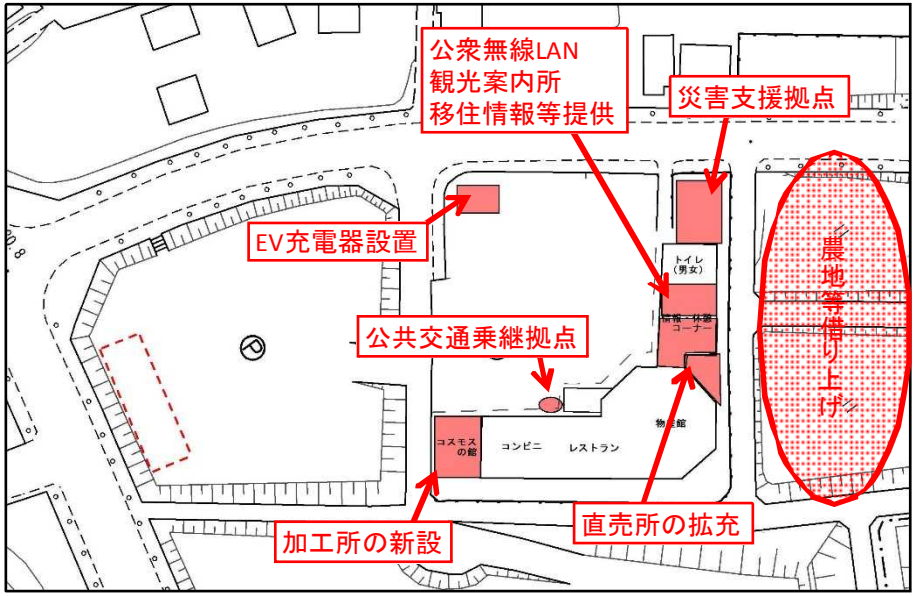
○ 職住複合機能を備えた活力ある新しい市街地形成の拠点としての道の駅の施設拡充・充実
○ 日本有数の優良日本酒好適米「山田錦」を活用した6次産業化のための加工所の新設

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合窓口	地方移住等推進	産業振興
史実・文化等知的好奇心の提供 観光案内機能・ふるさと納税	**空き家情報・就労情報** **地域公共交通のネットワーク**	直売所の拡充と加工所の新設 オリジナル商品の開発・高齢者への宅配



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
とうじょう	兵庫県	加東市	県道平木南山線	既設	平成11年	一体型



＜提案の先駆性・ポイント＞

■隣接する農地等を借り上げ、直売所の出荷量の安定化を目的とした農業生産者の雇用や後継者の育成
■国宝「朝光寺」など地域の文化遺産を紹介し、観光ウォークやツアー等を開催
■求人情報、分譲・賃貸中の住宅情報や空き家情報等の開示
■バス会社と提携し、公共交通機関の整備により、地域の高齢者の交通手段の確保。

＜実施内容＞

○直売所の売場の拡充。
○隣接農地の借り上げによる雇用の促進と後継者の育成
○農産物加工所の新設。
○観光案内コーナーの新設によるスタッフ配置
○地域住宅・分譲地・求人情報コーナーの設置
○道の駅と市中心部、鉄道駅を結ぶバスの運行

重点「道の駅」候補

道の駅「福良（ふくら）」　兵庫県南あわじ市

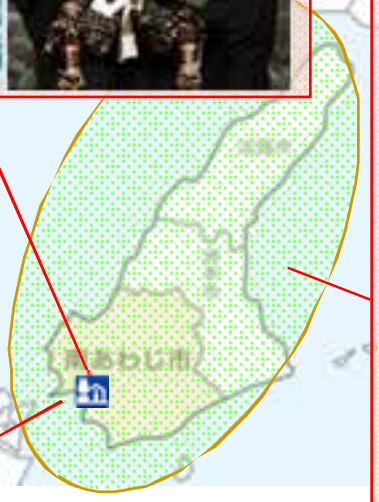
〇世界に誇る自然現象（うずしお）や国指定の重要無形民俗文化財（淡路人形浄瑠璃）を体験できる「道の駅」として、外国人観光客が増加していることから、多言語でのおもてなしを実施
〇食料自給率100%を超える淡路島の農水産物と風光明媚な福良湾を活かした飲食ブースの新設による雇用の促進

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

インバウンド観光 多言語対応設備の導入	観光総合窓口 自然・文化を解説し興味を惹起	産業振興 農観連携の飲食ブース・憩いの場創設

道の駅「福良」にて観察・観賞できる自然現象（うずしお）、文化（人形浄瑠璃）

風光明媚な福良湾



食料自給率110%を誇る淡路地域の農水産物（2008年、カロリーベース）

たまねぎ（全国シェア8.6% 3位）、レタス（全国シェア7.3% 3位）、キャベツ（全国シェア2.6% 9位）、びわ（全国シェア3.0% 7位）、シラス（全国シェア12.0% 2位）、イカナゴ（全国シェア21.2% 2位）、のり養殖（全国シェア17.1% 2位）

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
福良	兵庫県	南あわじ市	国道28号	既設	平成23年	単独型

展望スペースの活用

翻訳の難しい特有の自然現象、伝統芸能を適切に翻訳し、多言語での詳細な説明を行うことで国内外の利用者の知的好奇心を刺激する機会を提供（多言語FM放送配信システムの構築を検討）

☆ 想定説明ポイント
（うずしお・船、人形の仕組み・なりたち・芝居内容、足湯の利用法・効能、利便施設等

＜提案の先駆性・ポイント＞

■世界でも稀な自然現象（うずしお）と国指定の重要無形民俗文化財（淡路人形浄瑠璃）を核とし、多言語対応設備導入による外国人観光客へ知的好奇心を刺激する機会の提供
■地元淡路食材を活かした飲食ブースト憩いの場の創設
■地元文化及び自然現象（うずしお）を紹介する資料館の整備

＜実施内容＞

〇多言語対応のヘッドセット（レンタル）による各観光ポイント等の解説機器の導入
〇無線LANと外国語対応の案内タブレット、外国語学校等と提携した多言語対応可能なWEB通訳装置の設置
〇展望スペースを活用したフードコートの設置
〇うずしお、淡路人形浄瑠璃を紹介する展示スペースの設置

重点「道の駅」候補

道の駅「かつらぎ」（仮称）

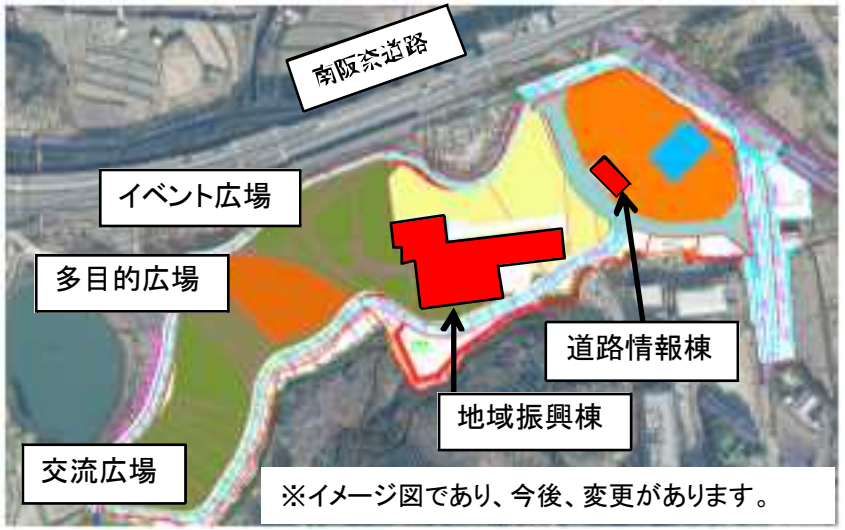
奈良県葛城市

○金剛生駒紀泉国定公園に代表される豊かな自然や数多くの国宝等を伝える當麻寺、最古の官道である竹内街道などの歴史遺産を資源として、外国人観光客を含む来訪者の増加を図る
○ 直売所・加工所の設置により地元農産物の6次産業化による地元産業の振興、地域の雇用促進を促進

＜地方創生拠点としての機能＞
地域センター型

観光総合案内	産業振興	地域福祉
奈良県南部のゲートウェイ	直売所・加工所	市内循環バスの乗継拠点

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
かつらぎ（仮称）	奈良県	葛城市	国道166号	新設	平成28年	単独型



＜提案の先駆性・ポイント＞

■金剛生駒紀泉国定公園に代表される豊かな自然や数多くの国宝等を伝える當麻寺、最古の官道である竹内街道などの歴史遺産を資源として、観光情報をはじめとする情報を発信し、外国人観光客を含む来訪者の増加を図る
■市内の起業希望者に商業活動参入の機会を提供し、将来的な市内での独立開業を支援
■直売所・加工所において地域の代表的な農産品である二輪菊、ネギ、酪農品等の6次産業化を促し、地域雇用を促進

＜実施内容＞

○直売所・加工所、地元新規起業者発掘のための出店スペース設置
○無料公衆無線LANの設置
○EV充電器の設置
○市内循環バス停留所の設置

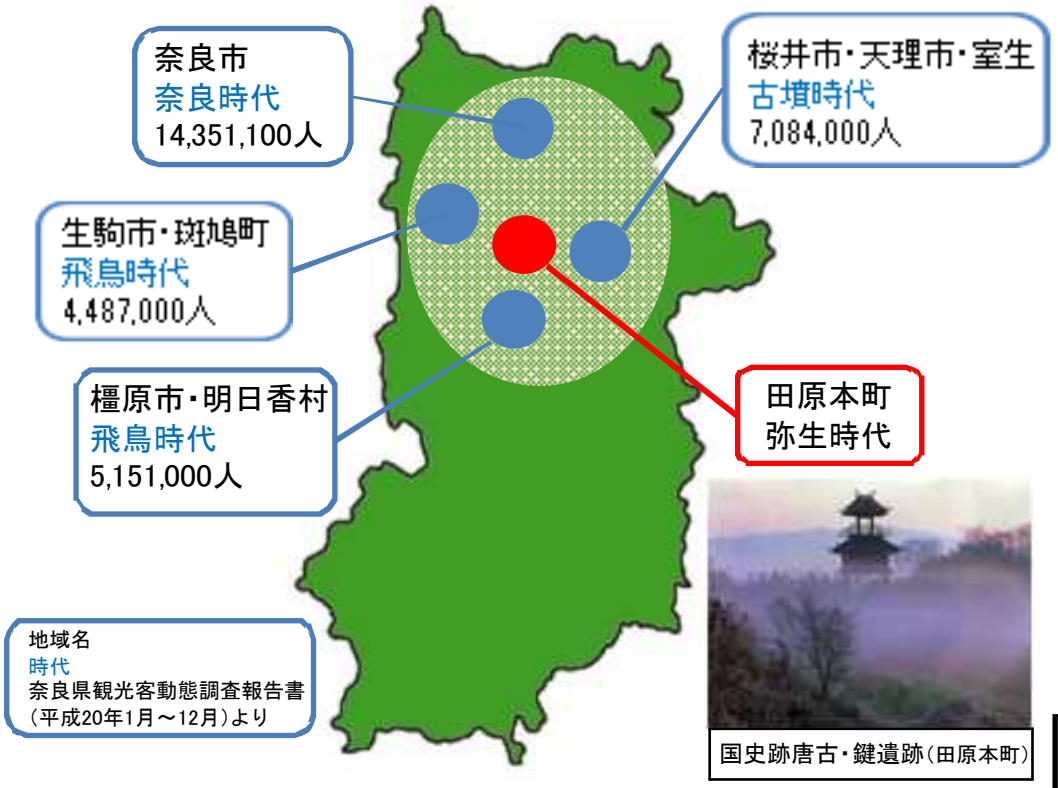
重点「道の駅」候補

道の駅「たわらもと」（仮称）　奈良県磯城郡田原本町

○奈良・斑鳩・飛鳥等の文化遺産地域の中間地としての立地を活かし、文化財・観光情報と教育活動の拠点として整備し、県内外に発信

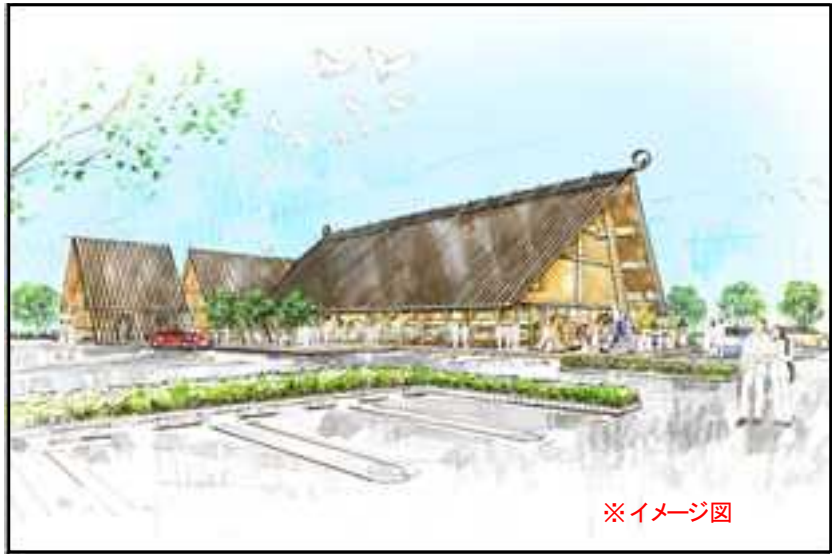
＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合案内	産業振興	防災
奈良県の歴史文化観光を総合案内	地元農産品を活用した特産品の開発	地域防災機能の充実



国史跡唐古・鍵遺跡（田原本町）

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
たわらもと（仮称）	奈良県	田原本町	国道24号	新設	平成30年	一体型


※イメージ図

＜提案の先駆性・ポイント＞

■奈良・斑鳩・飛鳥等の文化遺産地域の中間地としての立地を活かし、文化財・観光情報と教育活動の拠点として整備し、県内外に発信
■道路を挟み東側に、国史跡の公園が完成（平成30年4月開園予定）することで、歴史体験を学習できる場として観光に付加価値を付与

＜実施内容＞

○世界遺産とその候補地が集約する奈良県において、観光、歴史体験情報などの広域案内機能の整備
○隣接する史跡公園（平成30年4月開園予定）の遺跡を活用した歴史体験学習のための多目的室の整備
○産業振興のための物産品販売・飲食施設の整備
○無料公衆無線LAN・EV用充電スタンドの設置
○史跡公園と同様に防災時の応援部隊受け入れのための後方支援活動拠点として地域防災計画に位置付け、雨水貯留浸透施設、備蓄倉庫や非常用トイレなどを整備

重点「道の駅」候補

道の駅「宇陀路大宇陀」

奈良県宇陀市

○ 重要伝統的建造物群保存地区「宇陀松山地区」に隣接する道の駅「宇陀路大宇陀」を観光拠点とし、地域の歴史、文化、観光資源の情報発信と薬猟発祥の地とする宇陀の薬草を使った6次産業化等、宇陀松山地域の賑わいづくりと地域の活性化を図る

＜地方創生拠点としての機能＞
地域センター型

観光総合案内
名阪国道「針テラス」と連携した
県南部東部地域の観光拠点

産業振興
薬草など地域特産品を活用した
加工・直売（6次産業化）

道の駅「宇陀路大宇陀」周辺観光ネットワーク

道の駅「宇陀路大宇陀」

重要伝統的建造物群保存地区「宇陀松山」

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
宇陀路大宇陀	奈良県	宇陀市	国道166号 国道370号	既設	平成9年	一体型

＜提案の先駆性・ポイント＞

■伊勢街道、伊勢本街道など古くから街道が交わる交通の要衝に位置し、現在においても、吉野・熊野、明日香・多武峯方面など県南部東部方面への観光の拠点であり、「針テラス」と連携したゲートウェイ機能として周遊観光を促進。
■重伝建地区や酒蔵による観光振興、薬草を使った新たな特産物の加工・販売による産業振興、また周辺の公的施設と一体的に地域拠点整備による活性化を図る。

＜実施内容＞

○駐車場の拡幅、トイレの機能充実
○薬草加工施設・直売所の設置
○体験工房（酒蔵）の整備
○遊歩道（宇陀川）の整備

重点「道の駅」制度の概要　参考資料

○　全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。

○　この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。

《 重点「道の駅」に想定される機能 》

地域外から活力を呼ぶ
ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM　等

地方移住等の促進
地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供　等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ

地域の元気を創る
地域センター型

地域の産業振興
地方特産品のブランド化、６次産業化　等

地域福祉の向上
診療所、役場機能、高齢者住宅　等

高度な防災機能
広域支援の後方支援拠点、防災教育　等

全国モデル「道の駅」
国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」
国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し、重点支援

重点「道の駅」候補
地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

（選定の流れ）

重点「道の駅」実施の記者発表
↓
企画内容の確認
↓
「道の駅」有識者懇談会
↓
重点「道の駅」選定結果公表
↓
選定証授与式・交流会

「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生（筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授）
楓　千里（ＪＴＢパブリッシング執行役員 ソリューション事業本部副本部長）
篠原　靖（跡見学園女子大学 マネジメント学部准教授）
山田 知子（比治山大学現代文化学部教授）

（敬称略・五十音順）

（参考資料）

「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
・地域の振興に寄与

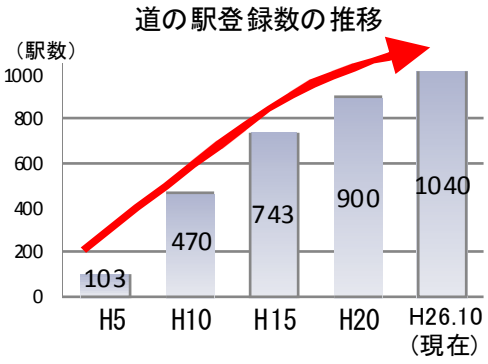
「道の駅」の機能

休憩機能	・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
情報発信機能	・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
地域連携機能	・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

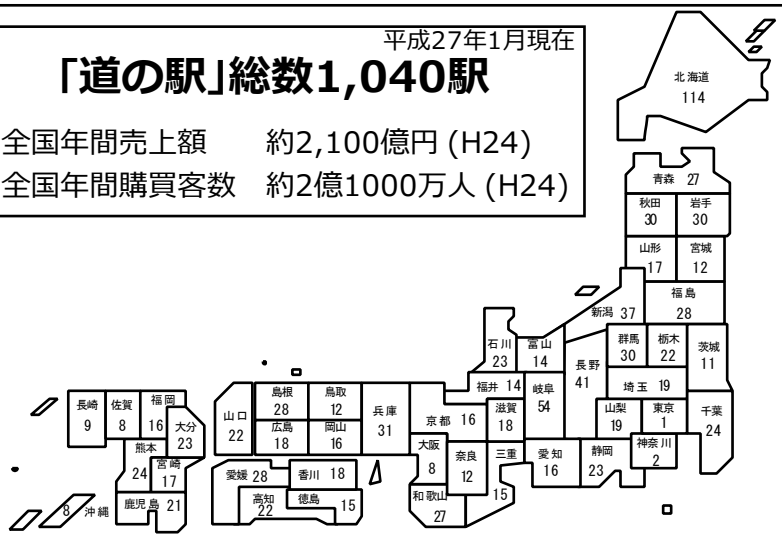
「道の駅」の基本コンセプト

地域とともにつくる
個性豊かな
にぎわいの場

「道の駅」登録数



平成27年1月現在

「道の駅」総数1,040駅

・全国年間売上額　約2,100億円 (H24)
・全国年間購買客数　約2億1000万人 (H24)